

# 安全週間説明会を開催

益田労働基準監督署



平成 29 年 6 月 1 日 ジュンテンドージャストホール

益田労働基準監督署と一般社団法人島根労働基準協会益田支部は、平成 29 年 7 月 1 日から同 7 日までの全国安全週間及び 6 月 1 日から同 30 日までの準備期間の開始にあたり、安全週間説明会を開催しました。

全国的な労働災害発生状況は、死亡災害は平成 27 年に 1000 件を切って、平成 28 年もそれを維持する見込みですが、休業 4 日以上災害は前年より増加の見込みです。

益田労働基準監督署管内では、平成 28 年に、それまで減少していた休業 4 日以上労働災害が前年比で 10 件増加しました。また、死亡災害も 1 件発生しています。事故の型では、「はさまれ・巻き込まれ」が最も多く占め、次いで「墜落・転落」、「転倒」と続きました。

安全週間説明会では、過去の災害から遵守すべき法令や労働災害防止対策として講じるべき措置を学んだり、転倒災害防止の DVD を鑑賞したりしたほか、平成 28 年に「はさまれ・巻き込まれ」が多く発生した現状に鑑み、「はさまれ・巻き込まれ」の危険体感実習を実施しました。体験者は、一瞬で回転体に巻き込まれる様子や、ローラーに引っ張り込まれる強さに、改めて「はさまれ・巻き込まれ」の恐ろしさを実感しました。

説明会の様子

危険体感の様子

クリックしてください